

(午前 10時00分)

○議長（佐藤忠吉） おはようございます。

ただ今の出席議員は、10人であります。定足数に達しておりますので、ただ今から、会議を開きます。

○議長（佐藤忠吉） **日程第1**、この際、ご報告いたします。

名村肇君が9月7日にご逝去されました。余りにも突然すぎる訃報に言葉を失っている次第であります。

名村肇君は現在2期目に入り、総務文教常任委員会副委員長として委員長を補佐し、頑張っていかなければならないと言っていた矢先でございました。

また、最上広域市町村圏事務組合議会議員の要職につかれ、お亡くなりになる前日、議場に会議報告を行った姿が最後となってしまいました。「5番 名村肇君」と読んでも、大きく元気な声はもう返ってきません。町づくりに積極的に取り組まれた道半ばのあなたのご意思を受け継ぎ、町の発展に全力で取り組むことを誓い、ここに名村肇君のご冥福を祈り、謹んで黙祷をささげたいと思います。

全員ご起立願います。

それでは黙とう始め。

（1分間の黙とう）

お直りください。着席お願いいたします。

ありがとうございました。

ここで、副議長 佐藤勝徳君より追悼演説の申し出がありますので許可したいと思います。

副議長 佐藤勝徳君。

○副議長（佐藤勝徳） おはようございます。

私は議長のお許しをいただき、9月議会定例会開会中に逝去されました故 名村肇議員の在りし日のご尊容を偲び、今ここに謹んで追悼の言葉を申し上げます。平成25年第3回真室川町議会定例会開会中の、この議場の5番席に腰を下ろす名村議員の温容に接することができないことは、議員一同痛惜に耐えません。かけがえのない貴重な議員を失ったことは誠に惜しみて余りあるものがございます。本当に残念ではありません。あなたは誰にでも平等に接し、時には冗談も交えながらも歯に衣を着せぬ率直で真摯な言動で、地域においても、町政においても、多方面の意見を出されていたことは議員仲間の記憶から消え去ることのないものでありましょう。平成21年3月地元有志を始め、多くの町民に推され、真室川町議会議員に見事当選され、本年3月には2期目の当選を果たされましたことは町民の信頼が厚かったことを物語っており

ました。議会にありましては、議会運営副委員長、青少年問題、協議会委員、交通安全対策協議会委員などを歴任され、現在は総務文教副委員長の要職にあり、また最上広域市町村圏事務組合議会議員として、今後に期待するものが多かっただけに無念さを表現する言葉を知りません。名村肇議員の卓越した識見と温容に接した歳月は夢のごとく、今幽明鏡をいにし、再びこの議場で網合間見えることが許されないとは世の無情が身に染み、万感胸に迫るものがあります。名村肇議員のご功績とご威徳を偲び、謹んで哀悼に意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。そして、天にありましても、ご遺族皆様の前途に限りなき、ご加護を賜りますよう念じますとともに、本町の発展と平和を見守りいただき、安らかなるお眠りをご祈念申し上げます。名村議員も目指されたように、町発展のために我々議員一同、あなたの意思を引き継ぎ、全力を尽くすことをお誓い申し上げ、追悼の言葉といたします。

○議長（佐藤忠吉） 以上をもって本日の会議を終了いたします。

これをもって散会といたします。なお、この後10時30分より、決算審査特別委員会を行いますので、よろしくお願い申し上げます。なお、その席の席での服装はクールビズといたしますので、合わせてよろしくお願い申し上げます。次回の本会議は以前に申し上げましたとおり11日午後4時から開催いたします。

（午前 10時08分）